



～あなたはどんな人に介護されたいですか? 大事な介護の心～

医療生協ボランティア学校最終講座 15人に修了証



5月13日(木)生協病院にて、ボランティア学校最終講座『介護の実技』と題して介護福祉士の山本美穂子さんほか河西、おおみや診療所職員によるお話と実技の講習がありました。まず、自分が介護される立場になって「どんな人に介護してもらいたいか」を考えることから始まりました。「健康」「家族」「役割」「意識」「友人」「お金」と書かれた札を自分にとって大事な順番に並べてみて、他の参加者と見比べながらいろいろな並べ方があり、人それぞれ価値観が違うことを学びました。自分の価値観を押し付けず、互いの価値観を認め合うこと、様々な価値観を持ったボランティアさん

が携わってくれることによって介護の現場の幅が広がる、資格や技術だけでなく、介護を必要とされている方のことを一生懸命考え、大事にする「心」が介護に必要な基本ポイントであることを学びました。その立場からのコミュニケーションのとり方やイスに座ってもらうときにどのようにすれば相手が安心して座ることができるか、立ち上がるときあまり力を使わずに立ち上がることができるか、ベッドから車椅子への移乗、車椅子の使い方や洋服の着方、脱ぎ方を初め、嚥下困難な方に使用したりするところみ付けなどを飲み物に入れて実体験してみました。また、麻痺などがあって生活に支障がある方に対しても全部介助者がやるのではなく、相手の力を引き出しながら介助することも学びました。現在、ご家族の介護やデイサービスなどで経験中の参加者の方から、介護のポイントや介護にあたる心構えなど再認識し参考になったと感想が寄せられました。講座終了後、「4回の講座のうち3回以上出席で修了」された参加者のみなさんにボランティア委員会木下委員長から修了証が授与されました。



・・・介護の実技を受けて・・・

- 介護のことがよくわかりました。介護のポイント教えてもらって、うれしく思いました。
- 母を介護している私でも、本当の介護の奥深さを考えると、自分がどこまで出来るのかと考えてしまいます。
- 介護される気持ちになることが大切である。もう少し実技が出来たら。時間があれば。持っている力を大いに利用して介護する。
- 話を聞いているとなるほどと思うことが多かった。お話を聞いたら無意識に「そうしている」と思うところ多々ありました。車イスの使い方がわかりました。
- 上衣ズボン元気な方からする事を教えてもらい役立ちます。出席できて本当に良かったと思います。介護の実技で色々学ぶ所があり勉強になりました。車椅子の使用の注意もよくわかり大変良かったと思います
- 車イスの体験はみんな経験しておくとういと思った。声が高く早口で語尾を引っばりもって話し方をソフトにしたらいと思った。長い間聞いていると交換神経がたかぶる。トロミ飲料に入れるの自然物のデンプンなのか。添加物は入っているような味がする。元気な時にいろいろ体験して勉強して不便な点を改善して知恵を出し合うういと思います。

5/15医師・看護師・介護職員増やせのスリーウェブ・パレードが朝日新聞に掲載されました

労働環境改善 求めパレード
看護師ら100人
看護週間最終日の15日、医療・介護従事者の増員や、労働環境改善を求める「スリーウェブ・パレード」が和歌山市内であり、看護師ら約100人が参加した。写真。医療従事者らでつくる県医療労組連合会と県民主医療機関連合会などが主催。最初は看護師による運動だったが、県内では昨年からは、医療現場をもとに支える医師、介護職

員の三者で実施している。「パレード」に先立ち、医療の現場で働く看護師らから、看護師不足で業務が過酷になり、夜勤が月10回を超えるケースがあることや、介護職員の雇用が不安定である現状が報告された。その後、参加者は白衣で「医療崩壊、介護崩壊、ほっとけやん!」と声を上げ、県庁前から和歌山城の周辺などを行進した。(上田真美)



歩こう
核兵器のない世界へ
2010
5月→8月
国民平和
大行進

医療生協のある街
つれもて歩こう

昨年(9/11)の平和行進 和歌山市

「核兵器のない世界へ」国際署名 1万2千筆 目標超過達成
NPT再検討会議 ニューヨークへの代表2名の派遣
医療生協平和大行進旗が県内市町村でリレーされます

今年の平和行進は組合員・職員の多数参加で成功させましょう!!
一歩でも二歩でも一緒に歩きましょう

県内平和行進(医療生協の事業所のある地区)日程

5月27日(木)	海南市役所前	17時30分
5月28日(金)	紀美野町役場前	17時30分
5月29日(土)	和歌山市役所前	10時30分
5月30日(日)	岩出市役所前	10時00分
5月30日(日)	紀の川市役所前	14時30分